高圧電源の標準検査方法

■ 高圧電源標準検査法

直流高圧電源の標準的な検査法に関して公的な規定がありませんのでBellnixでは世界優良高圧電源メーカーが採用している標準的検査法を参考にBellnix 独自の品質管理プログラムを制定し、これを採用しています。以下に説明します検査方法は、本カタログに記載されている多種のモデルの検査をカバーしています。

■ 検査成績書

本カタログに記載されています製品の検査成績書は、以下に解説する検査に基ずいて検査されます。検査内容はBellnix 品質管理プログラムの規定により検査項目が決まります。製品に添付されます検査成績書はこれらの検査項目の内容に一致しております。事前に検査項目をお知りになりたい場合にはお問い合わせください。

■ 測定機器及び校正

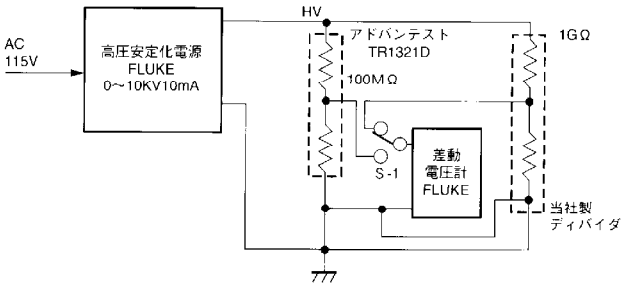
以下に解説します多くの測定機器は市販されている測定機器が少ない為にBellnix が独自に開発製作した機器も含まれております。これらの校正はBellnix 品質管理課によって厳格な校正及び品質管理が実施されております。

■ ! 警告 (安全管理)

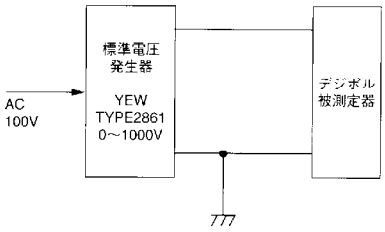
以下に解説する検査は、生命に係る危険電圧が存在しておりますので、可能な限りユーズサイドでの検査はお避け下さい。止む無く検査を実施される場合には下記の注意及び別記注意をお守り下さい。安全対策を怠ると致命的な損傷を被ります。

- 全ての装置が完全に接地されている事を確認して下さい。
- 装置の電源がOFF、内部及び負荷キャパシティーが放電されている以外は、高圧電源の内部及び接続部には触れないで下さい。
- 自分自身を接地したり、湿気のある状態で作業をしないで下さい。
- 高圧の知識の無い作業者には触れさせないで下さい。
- 安全が確認された高圧シールドルーム等にて作業をして下さい。
- 全ての製品使用前に取扱説明書及び製品カタログを熟読して下さい。

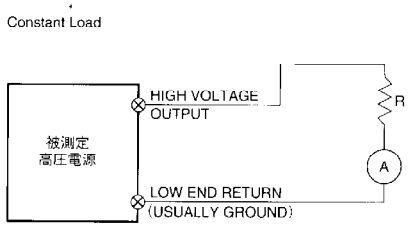
■ Bellnix 高圧デバイダ校正システム（図2）



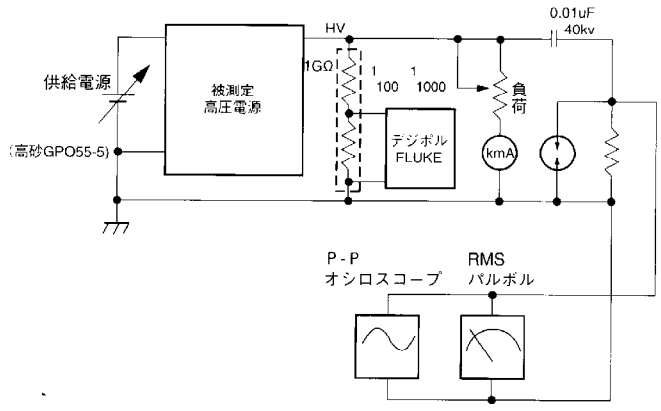
■ デジボルの校正システム（図3）



■ 高圧負荷の接続（図4）



■ Bellnix 高圧電源標準測定回路（図1）



- 高圧端子からのリード線は、高圧用高耐圧線を使用します、高圧専用配線材が無い場合にはグランド回路及び作業者へ触れると致命的損傷を被りますので使用できません。
- 指定された負荷条件を満たす適切な電圧と電力を確保されている負荷抵抗を選定します。
- 使用する負荷抵抗は絶縁油中に設置するか、作業者及び第三者から隔離された場所に設置します。
- 高圧負荷抵抗は、高圧専用抵抗を使用します。高圧専用抵抗は端子間の沿面距離が確保されています。この場合、必ず抵抗に印加できる定格電圧以内で使用します。
- 電流計は、必ず安全の為、低圧側（Low End Return）に接続します。Low End Return側の配線は通常安全接地されます。図4参照